



とよおか

第 37 号

平成19年7月30日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷㈱



酒井富義さん(佐原)栽培のルリダマアザミ

6月定例会

6月定例会のようす	2～3
予算特別委員会の質疑から	4～5
一般質問のようす	6～12
委員会だより	13
「私の一言」／私ががんばっています／編集後記	14



この議会だよりは、再生紙を使用しています



自らつくる地域づくり事業（原・木門地域の蕎麦畑）

6月定例会

国保調定額 1 人当たり 42,211円 で前年並み
 消防詰所新築 2 カ所 2,782万円

第二回定例会は、六月六日に開会され、同月二十日までの十五日間の会期で行われ、人事案二件、村条例改正案四件、一般会計補正、特別会計補正など補正予算案四件などが上程された。

今定例会は、改選後初の定例会でもあり、特に六月十四日に行われた一般質問には、議長を除く十三名全員が質問に立ち、会議時間を一時間程延長しての活発な質疑応答がなされ、傍聴席の多くの皆さんが、終始熱心に聴き入る姿が、印象的だった。

国民健康保険 基金繰入

千三百万円

国民健康保険税の改正については、平成十八年度の医療費総額で二・二%の増額となったものの、十七年度の入院数が減少し、一般分の医療費の支出が前年を七・九%下回ったため、被保険者一人当たりの調定額を昨年とほぼ同額の四万二千二百二十二円とした。

しかし、課税総額を計算して収支不足分千三百万円については、基金から取り崩さざるを得ない。

この審議にあたっては、五月二十二日に行われた国民健康保険運営協議会での答申を基に五月三十日の全員協議会で説明を求め、質疑が行われ、六月六日の本会議に於いて、全会一致で可決された。

尚、十九年度末での基金保有額は九千七百万円余の見込みである。

議員報酬 九ヶ月の特例で 減額

今年改選期であったため、三月の第一回定例会での条例改正が見送られていたもので、今定例会で発議され、十九年七月一日から二十年三月三十一日までの議員報酬月額を昨年同様の五%減額することを、全会一致で可決した。

審議に当たって、全員協議会で「本則で改正すべし。」「安いのでは。」「特別職を含め、報酬が適正なのか否かの研究が必要。」「定数も含め考えるべし。」「などの意見が出され、今後の取り組みの中で議論を深めて行くことを確認した。

補正予算

一般会計は四千八百六十三万円を追加

人材育成補助金を
社会教育費から
総務費へ組み替え

総務費

- ・庁舎地下室ポンプ修繕 六十
三万円
- ・地域名札九十枚作成 二百六
十五万円(三分の二県費補助)
- ・地域福祉基金積立金 七十五
万円(あさぎりの里分配金)
- ・人材育成事業補助金 百五十
万円(社会教育費からの組み替
えを行ったもの、今後、研修場
所内容などの研究・検討が必要
か)
- ・有線非常用機器購入 百四万
円

民生費

- ・福祉医療給付費 百三十五万
円(中学生通院分に対する事務
及び給付分)
- ・保育所嘱託職員報酬 二百十
二万円(南保育所未満児保育職
員一人分追加)

衛生費

- ・保健協力員賃金 四十五万円
(産休保健師の代替協力員・月
八日、八ヶ月分)

農林水産業費

- ・農地・水・環境保全向上対策
事業交付金(遊休農地等に対す
る地域協同での管理に助成する
もの、県協議会への村支出分、
該当は、山田、木門の二地域)

消防詰所

堀越は老朽化で、壬生沢
福島は統合による新築へ

消防費

- ・消防施設工事委託料 百二十
六万円(設計など)
- ・施設整備工事請負費 二千三
百万円(堀越・壬生沢・福島
各々四十五平方メートル、堀越
は現在地、壬生沢、福島は拠点
施設際へ)
- ・機械器具購入費 三百五十七
万円(壬生沢・福島の小型ポン

陳情・請願

- ◎「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願…採択
- ◎「公共サービスの安易な民間解放に反対し国民生活の“安心安全”確立を求める意見書」提出に関する陳情…継続審議
- ◎日豪EPA交渉及びWTO農業交渉に関する陳情…採択
- ◎資材支給制度の見直しに関する陳情…採択
- ◎山間地に向かう集落道の落石防止策についての陳情…採択

日豪EPA交渉及び WTO農業交渉に関する陳情

昨年7月末から中断していたWTO農業交渉が再開、オーストラリアとの経済連携協定の交渉も開催され、わが国の農業の存亡に係わる重要局面を迎えようとしています。とりわけオーストラリアとの交渉では関税撤廃による深刻な影響が考えられ、私達の生活に極めて憂慮すべき事態となります。重要品目であります米、麦、牛肉、乳製品、砂糖などの農畜産物を「除外」するなど、適切な取扱いを行うこと。このことを政府の内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、外務大臣に豊丘村議会名で意見書で提出願いたい旨の陳情がみなみ信州農業協同組合並びに同農政対策協議会松下会長より有り、今議会で採択されました。

- プ及び積載車の更新によるもの)
- ・防災修繕費 四十万円(同報
無線バッテリー修繕)

教育費

- ・小学校英語教育賃金等 百二
万円(高学年を対象とした英語
に楽しく親しむ教育、文部科学
省よりの委託事業)

土木費

- ・施設整備工事請負費 二百五
十万円(水辺の楽校の土砂礫除
去等、親水池の整備)

主な補正は以上の様なもので
あるが、出された意見等は次べ
ジ以降に記載。



あり方に議論集中

平成十九年度、第一回定例会の予算特別委員会が、十五日に開催されました。四千八百六十三万二千円が追加されました。主にコモンズ元気づくり支援金や人材育成事業などについて論議されました。

人材育成事業が教育予算から総務企画費へ、憲法上の問題は？

丸岡議員 比叡山で座禅を行う人材育成事業は、宗教行事を教育予算で行う事に住民から指摘をうけ総務企画に移ったが、出先を変えただけではないのか。村長 顧問弁護士とも相談してある。人材育成事業としては成果が見込めるので、この事業は続けたい。教育委員会からも意見があり、企画費で行う事にした。唐澤議員 人材育成事業を他の形で検討された経過はあるのか。教育長 夏休みにしかやる時がなく、理事者を交えていろいろと検討してきたがこれに勝るものは無いという考えに至った。川野議員 今後この事業に対して教育委員会の関わりかたはどうなるのか。教育長 密接なつながりがあるので住民課とも連携しながら行っていく。原議員 この問題については、

座禅がなければ教育費で行うのか。村長 総務費の方がスムーズと思う。

堀越と壬生沢福島の詰所を改築

唐澤議員 非常備消防費の施設工事委託料と工事請負費を詳しく。総務課長 詰所を二箇所建設する、堀越と壬生沢福島の、壬生沢と福島はそれぞれ統合し福島に改築、軽便・ポンプを壬生沢福島に購入する。菅沼議員 積載車は購入してどのくらい経っているのか。総務課長 すでに十五年以上は

経っている。松村議員 今後の消防団の統合計画や改築の予定、年次はあるのか。総務課長 これから消防委員会にかけなければならぬので、まだ資料はない。



昨年度完成した市の沢詰所

議会活動報告 四月～六月

◎四月

- 三日 入園式
- 四日 南北小学校入学式
- 五日 中学校入学式
- 十日 長野県町村議会議長会
- 十一日 議会だより編集委員会

◎五月

- 二日 新人議員研修会
- 九日 第二回臨時議会
- 十七日 北部ブロック正副議長・事務局長会議
- 二十二日 全国町村議会正副議長研修会（東京）
- 国保運営委員会
- 新人議員研修会

- 二十三日 議会だより編集委員会
- 二十四日 下伊那郡町村議長会
- 二十五日 松くい虫対策協議会
- 二十八日 議会運営委員会
- 三十一日 全員協議会

◎六月

- 一日 長野県町村議会議長会臨時総会（長野）
- 五日～六日 松くい虫空中散布
- 六日 第二回定例会 開会

予算特別委員会の質疑より

人材育成事業の

カーナビの購入は必要か

東垣外議員 一般管理費の備品購入費でカーナビ購入費が十万一二千円あるがこんなもの必要か。みんなこんなもの必要ないと言っているがどうか。

総務課長 公務で行く目的が多岐にわたって来た。必要と判断した。

コモンズ支援金で地域の名札作製 村内九十枚

片桐(秀)議員 コモンズ元気づくり支援金の地域名札、以前に作った案内板は字が小さく見えない何かならないのか。

総務課長 大きさは決められている。ここは何処という、簡単なもの大丈夫と思う。

片桐(義)議員 看板は高価なもの、材質なども考慮されたいし、こういう景気なので発注業者等よく検討されて発注されたい。

国の環境保全事業を地域で活用

前沢議員 農地・水・環境保全向上対策事業十五万円の説明を詳しく。

産業建設課長 十九年度から五年間の継続事業、簡単に言うとう遊休農地の管理、村内に希望を取った結果、山田と木門は対象。副村長 区長さんを通じて説明会を持った。各地区へ入る。

菅沼議員 良い制度なのでもっとPRすべきだったのではないかと。副村長 これは五年間継続だがこれで打ち切られている。

立木補償について

片桐(義)議員 土木費の立木補償が四十万ある。道路維持費の日影地解消の補償費は交渉がやりやすいとの声もある復活出来ないのか。

村長 雑木まで見てきた経過があったが土木懇談会でも木を切るには頼みやすいとの声があったので立木補償として見た。

中学校関係について

片桐(義)議員 就学指導の必要な家庭に対して、努力はしているのか。

教育長 学校では絶えず努力をしている。

丸岡議員 学校管理費の中学受電施設工事について詳しく。

教育長 メドとして十五年で変えなければならぬもの、既に二十三年経過している。南北小学校も同様、今回中学のみ県で認めてもらった。何かトラブルあれば近隣住宅に影響してしまう。

全員協議会

七日 議会だより編集委員会

十一日 総務産建委員会

十二日 社会文教委員会

十四日 一般質問

十五日 予算特別委員会

全員協議会

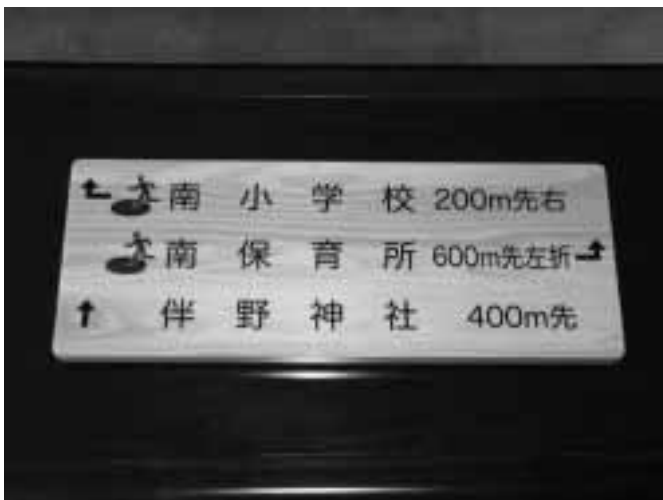
議会運営委員会

十九日 第二回定例会 再開

全員協議会

二十八日 新人議員研修

二十九日 広域連合議会官内視察(正副議長)



できあがった地域の名札

いっぱんしつもん

質 福祉タクシー利用料金について

答 状況をみて判断していく

川 野 孝 子

質問 平成十九年度の福祉タクシーの利用料金について、四月一日にタクシー会社と千四百万円で契約が出来たかと思う。

その後、四月二十七日よりタクシー料金の値上げが認可された。最終的に千四百万円を超える事も予測されるが、その時はどう対処するのか。

村長 契約の補則九条の中で、道路運送法に基づく値上げがあったとしても相当額を見直しますという事も書いてない。契約の千四百万円の範囲内でやってみようという本音もある。

しかし、赤字が増える場合には、今後半年位の状況をみながら具体的協議をしていきたい。

質問 今後利用者の料金の値上げは考慮していくのか。

村長 十九年度中には検討をしていきたい。「増額をしても現在の福祉タクシー制度をぜひ続けてもらいたい。」という切実な声もあり交通弱者の実体も見極めながら総合的に検討したい。

高齢者の緊急対応について

質問 高齢化の進む中、高齢者世帯の意識調査をしたらどうか。



一人暮らし老人世帯に配備されている通報措置

村長 誰もが幸せを実感できる村づくりが基本と考えている。必要であれば又、考慮したい。

質問 緊急通報装置はどの位設置されているのか。

村長 現在、村内二十戸の独居高齢者の家に設置されている。予備がない状況なので希望者が増えれば補正で対応したい。

追 跡! どうなっている? 県営工業団地

河野地籍への、県営工業団地、造成構想が浮上したのが平成五年でした。県営工業団地の候補地として上位にランクされながら指定されないまま当時の経済状況等もあって数年が経過しました。

平成十二年県営工業団地造成に関する基本方針が決定されましたが、この基本方針では、佐久・富士見・須坂地域での造成を指定するとともに、以後新規の工業団地造成は行わないとの最終方針が出されました。

この基本方針から河野地域の県営工業団地造成は除外されてしまっている、県の方針ではまったたくの白紙状態となっているのが現状であります。

こうした状況のもと、村と地元地区との話し合いで、工業団地造成推進委員会はそのまま存続させ、県営工業団地との呼称を継続して使用して行くことを確認し、進出希望企業等への迅速な対応の出来る体制を継続して工業団地実現に取り組んでいきます。

この間にも幾つかの進出希望の企業もありましたが実現までには至っていません。村でも県を始め関係機関に精力的に働きかけをしており、最近も飯伊地域の畜産施設設置の話がでてくるとの情報もあります。

天竜川への架橋を実現する上でも河野地域での工業団地づくりの取り組みは重要で相乗効果により工業団地造成と天竜川への架橋の一日でも早い実現が期待されております。



林公園からの展望

質 村長のマニフェストへの質問

答 町村合併、いつの時点でも協議対応する

片 桐 秀 人

質問 財政が毎年苦しくなっていく中で町村合併を考えているか

村長 今後財政見直しは一層厳しくなる、道州制の議論もあり、再び町村合併の議論も起こり得る。いつの時点でもテーブルに付いて協議をしていく必要があると考えている。

質問 人口減少と一校制について
村長 七千五百人の村を目指して行く。二校三園を維持していくため、人口増

加の取り組みや住宅団地の造成をやっている。

統合の問題が浮上してくると偏りが出てきてしまう。今の段階は努力すれば増える。

質問 農業の担い手は七十歳台になっているがどうしていくか。
村長 第二の人生を楽しみながら農業に取り組んで頂きたい。行政も支援していく必要があると考えている。

質問 北部五町村の連携と協調、産科小児科の充実を上げているが具体的にどう行うか。
村長 安心してお産のできる環境を行っていくための努力をして行く。

質問 日赤の産婦人科の医師が来年三月で退職されると聞くが。
村長 今朝、松川町長から聞いた。医師確保と産婦人科復活ができるような取り組みを松川町長と共に取り組みたい。

質問 保育所の民営化の進め方はどう行うか、検討委員会をつくる予定か。
村長 ぼつぼつ考えていくべき時期、専門の委員会をつくって意見交換をした上で決めたい。

質 農業振興への取り組みは

答 支援対策事業で取り組みを

菅 沼 敏

質問 農業は自然環境を生かした重要な産業である。村にとっても基幹産業である果樹栽培は近年就業者の減少、高齢化が進み元気がない。生産性が高く付加価値の高い農業へ振興が図れないか。(一)生産年齢人口の見直しは。(二)散在する樹園地の集約化は。(三)新たな果樹団地の造成は計れないか。
産業建設課長 ○五年度農林業センサスでは農家数八百十八戸(前回より七

十二戸減)人口、農家数とも今後減少傾向にある。生産性を上げる生産基盤の整備がされて来たが近年その基盤が弱くなっている。新しい果樹対策として、果樹経営支援対策事業への取り組みを検討したい。新規団地造成は国の補助がされたとしても個人の負担が相当額になる。現状では無理である。むしろ空洞化になった樹園地を意欲のある方に耕作の方策をしたい。



ふえつづける遊休農地

質問 人口増対策について

少子化は社会保障に影響を及ぼし社会の根幹を揺るがす大きな問題である。村の社会的インフラ整備はどうなっているのか。
村長 まちづくり支援事業を活用し推進中である。また子育て支援を中心に進めて行きたい。

質問 認知症の予防対策は
認知症は老化現象の一つ、脳の動きが老化し記憶障害を起こす。発症は家族にとって苦慮します。

住民課長 高血圧、脳血管を痛める生活習慣病予防をすることで発症を抑える。健康診断や健康指導を計画実施して行く。

質 小学校問題検討委員会の立ち上げは？

答 現段階では考えていない

原 健 治

農業施策をどう考えるか

質問 農業に携わっている人は年々減少の一途、若い人は少なく六十歳から七十歳代が主力で頑張っている。村として農業に対する考え方はいかに。

村長 食糧を生産する農業は欠かすこととは出さない。更に自然環境の保全、景観の保持等に農業の果たす役割は大きく重要である。

質問 農業振興費が年々減少してきている。厳しい情勢下、予算面で手厚い施策を望む。

村長 行政として精一杯支援して行きたい。

『小学校問題をどう考える』

質問 生徒の減少した小学校、将来を見据えた場合、二校をどのように考えるか。

村長 人口増対策、均衡ある地域の発展の立場から二校をいかに存続していくかが課題。

質問 一学級の理想とする人数をどう考えているか。

村長 二十名程度。

教育長 国の基準は四十名以内、長野県は三十名、三十五名以内で行われている。当委



他の活用を検討。(パターゴルフ場)

員会では結論が出せない。

質問 いろいろな角度から検討する検討委員会の立ち上げは。

村長 専門的な委員会の検討も大切と考えているが、教育委員会で考えてくれるものと期待している。

教育長 結論が出ない。

質問 問題視される村営施設は。教育委員会事務局 パターゴルフ場を他の活用に検討中。屋外テニスコート面変更を検討中。

質 妊婦健診の無料回数はいくら？

答 早ければ五回分が九月補正で

片 桐 眞 理 子

質問 病気や回復期に一時預かってもらう病後児保育については、核家族化などで仕事と子育てとで悩む事が多くなっている。少子化対策と安心して生み育てやすい環境づくりのため病後児保育についての考えを伺いたい。

住民課長 平成十七年に調査をしたが、わずかな人数であった。

村外施設に委託する対応を検討する計画はあるが村内での計画は今のところはない。

質問 妊婦健診の無料回数について飯田市では県内統一して来年四月から五回分が無料になるというが豊丘村ではどうか。

村長 実態調査をして緊急性があれば九月補正で一步早く取り組む事も考えている。

質問 全国統一のデザインであるマタニティマークでカードを作成し駐車証を作る事で、妊産婦が安心して駐車障がい者用スペースに利用できるようなものと思うが、どう考えるか。

村長 障がい者団体の方と相談する中で進めていくと考える。

要望 小児救急電話相談事業の(井)



元気に泳ぐ子供達。(北小学校のプールで)

シャープ八〇〇〇の取り組みなど、村の取り組み以外でも子育てに役立つ情報提供は積極的にPRをして頂きたい。

質問 品質や価格だけでなく環境に優しい物品やサービスを購入するグリーン購入については温暖化防止にも役立つ。購入の基本原則はどのように考えるか。

村長 エコマーク、リサイクル製品の購入に努めている。さらに環境配慮に努力していく。

質 有利な制度活動で前向きに取り組む
答 北保育所未満児保育の実施を

前 沢 光 昭

質問 今回の選挙においての村長のマニフェストのなかで、子育て環境の充実がある。

この中で優先的に進めるものは何か。中央保育所、南保育所では未満児保育、長時間保育が整っているが、北保育所でも要望の強い未満児保育について必要と思うがどうか。さらなる子育て支援についてどう考えるか。村奨学金制度は大学の場合金額も低く返済期間も



未満児保育の充実を

短い、そこらへんの充実が必要だ。村長 北保育所での未満児保育は施設が現代的でないという事、改修が必要となれば有利な補助制度活用で施設を整えてということ。前向きに取り組んで行きたい。奨学金については返すときを考えれば、単価の引き上げはもう少し検討が必要。

住環境整備について

質問 村の新たな住宅対策である戸建賃貸住宅については、多額の財政負担が必要である。なぜ戸建なのか。上下水道の先行投資はこれからの村の住宅対策の上で新たな改善が必要と思う。今までは、ある地域に家を建てたくても上下水道が来てない。どうしてもやりたければ自費でやらなければならない。そこが将来性があつてもむずかしかった。誰が見ても将来性のある住宅地域では必要ではないか。個人や企業等の取り組みもあるがどうか。

村長 企業が取り組む場合も差別なくやる。審議会もつくり、その上で村長の特例でという事になるうと思う。

質 役場職員や特別職の報酬公表は
答 できるだけだけ公表をして行きたい

東 垣 外 厚

質問 役場職員の報酬は、非常に高額と聞きますが住民としては本当のところでどの位もらっているか知らず言っているのです。報酬については公表されていると思いますが複雑な手当等があり正確に理解できません。職員はじめ理事者、特別職および議員の実際の年収について地位年齢と共にわかり易く公表してください。

ではないでしょうか。村長 それなりの活動隊はこれからの取り組みかなと思う。ゴミのポイ捨てですが、諸外国では相当高い罰金のため非常に綺麗という所もあります。そこまですなくても、みんな協力してクリーンな地域づくりができないかと考えています。

村長 個人のプライバシーに触れない程度ではできるだけ公表していききたい。均等給与は毎年広報誌等で公表していますが、一番の核心部分は分かりにくいところがあります。いつものような形で公表するかについては内部で検討します。中高年による村を守る集団を創る必要性は

質問 会社を定年退職された方や消防OBで元気で若々しく暇をもて余しておられる方々が大勢います。消防団や日赤奉仕団又社会福祉協議会などを補佐出来る中高年による村を防衛する組織を創る必要はありませんか。また空き缶やゴミのポイ捨てに對し罰則付きの禁止条例が必要



きれいな村づくりをめざして

質 南北小の統合は慎重に対応を

答 教育論からの判断は難しい

唐 澤 啓 六

質問 ◎南北小の統合について教育委員会での検討状況は

◎統合による村の財政面での影響はどうか

◎堀越区の北小への学区変更についてどう考えているか

教育長 検討はしている。大・中・小規模校の長所、短所を教育論から検討しているが、結論は出しにくい。

総務課長 財政への教育の試算値は、歳出面では十八年度決算見込額におきかえて約千五百十二万円の節減、

歳入面では地方交付税の減額が千三百十五万円となり、約二百万円程度財政負担が少なくなる。

(その後の再試算の結果、地方交付税の歳入減は約千九百八十三万円で、統合によって村の負担は増大することが判明した。)

村長三期目の公約について

質問 (一)「遊休農地や林野を公的機関で管理」とあるが、公的機関とは何か。(二)「村営バス、福祉タクシー制度をさらに充実」とあるが具体的には。(三)子育て支援策を重視しているが、「児童扶養手当」が来年四月より大幅支給減となる。村としての支

援策が必要と考えるが。

村長 (一)農地は「だいち」、林野は森林組合である。(二)村営バスは、路線の延長、時間や料金の改定等を考えている。福祉タクシーは、対象範囲の年齢、障がい程度等検討していく。(三)児童扶養手当の減額はまだはつきりしない部分があるので、具体的な内容がでたら二十年度予算に向けて検討していきたい。



下校中の子供達 (南小学校)

質 元気出せ支援事業、農機具も対象に

答 必要とも思う、今後検討する

壬 生 章 男

質問 農業問題の中で有害鳥獣の問題について、豊丘村では十年前にはシカ・イノシシの捕獲頭数は二十三頭でした。

しかし、昨年に至っては五百十一頭と二十倍以上の数になつており被害額は大変な金額になつており、シカ・イノシシ対策は電牧を張るのが一番良いと思います。山間部には三ノアール要件に合わないため見直してもらいたい。

村長 二年ほど前に要綱を、法人あるいは三ノアール以上に変えました。先の有害鳥獣対策協議会の中でも話があり内部でも検討しております。

質問 農業問題でもう一点担い手対策について。ここ数年ごろよりイターンで豊丘村に来て農業を始めた新規就農者や若い後継者の方々がいます。定年を迎えたり、イターン農業を始め一番困っているのが農機具だと思います。農機具購入にも活用ができるよう村単事業『元気出せ支援事業』の見直しを行い、「もつと頑張つてほしい」という姿勢を村は見せてもらいたい。これからは元気の出る農業振興をぜひお願いしたい。



鳥獣害対策。経費増とメンテに悲鳴

村長 国、県の農機具に対する助成が狭められてきてなかなか難しい。村として特にそういうことも必要かなと、また内部で検討をしていきたいと思いますが、要綱とかどのように制度化していくのか、難しい部分がありそこらは十分配慮して行きたいと思えます。せつかく来ていた、いただいた新規就農者やはり長続きしていただく様に考えなければならぬと思います。

質 私の年金、大丈夫？親切な対応を望む

答 住民不利にならない窓口対応をする

片 桐 義 憲

質問 社保庁業務のずさんさが露呈され、五千万件余の年金記録不備発覚で社会的大問題となつている。私の年金は大丈夫なのかと不安を抱く住民が多い。今日までに、この種の問い合わせ心配の声はあつたのか？その際、所轄の違いでも親切、丁寧な窓口対応を求めます。紙台帳保存状況はどうなつてい

るのか。
村長 大きな社会問題である。昨今の保険料値上げや、当時年金担当をして

いた一人として責任を感じている。幸いに記録カードは保管している。紹介があれば対応できるので安心いただきたい。交通弱者の方は社会保険事務所

質問 野獣の生息範囲が村内一円化し、地域荒廃や、生活権まで侵害している。市町村長の捕獲権限が強まったと聞くが今後どう対応されていくか？又有害獣駆除サイドから保護区の見直しや提言をすべきと考える。新たな駆除対策は図れないものか？

で電話対応している。今後も充分な窓口対応をとる。
獣害対策新たな対応は？

村長 クマだけで六千頭、県内に生息しているとも聞き、大変な状況と認識している。保護区域の縮小等を含め、今までと違った対策が打てる様に県に強く申し入れていく。

捕獲しても学習放獣されるツキノワグマ

産建課長 ツキノワグマ緊急時における一部権限移譲の通達が出てきているが、実際には、クマ対策委員の判断、指示の部分が多い。今回のクマ捕獲処理は、村長の意の強さによる結果となる。

質 小学校統合問題研究会発足を

答 地域の均衡ある発展を望む

下 平 喜 隆

質問 少子化の影響で豊丘村も昨年度は新生児が三十八人のみとなった。この学年が入学、入園する現実を見据えて、今から二つの小学校、三つの保育所の在り方を研究する審議会を立ち上げ、教育環境、社会的経済的見地も含め、村民全体で検討を深める必要があると思う。

新聞や公民館報でも扱われ村民の関心も高い、このタイミングで、各地域、各世代から参加を募り、村長自らが審議会を立ち上げる必要性を訴える。

村長 今は小学校や保育所の統合を語る時ではない。下段地帯の均衡ある、それぞれの地域の発展を優先すべきである。その為に人口増施策を積極的に進めていくつもりだ。

質問 村の積極的な人口増対策は評価している。しかし子供達の教育環境の見地から考えると現在の北小学校の規模は、とても充分とは言えないと思う。

たぐさんの友人や先生方とふれ合い、揉まれて、より健全で自由活潑な子供として育つものだ。

豊丘村議会として小学校、保育所の将来を考えるために、統合も視野に入れた研究会を設立し、審議していただく事を議決し提案したら聞き入れてもらえるだろうか。
村長 両小学校が今の位置にある。地域の発展、人口増問題でも学校は必要だ。規模に合った適正な学校運営を行うことで、教育効果が上がる様にすることが重要である。



少子化が問題となる北小学校

質 職員のパワーアップ、どう促すか

答 研修方法今までと変え力をつける

松 村 正 三

質問 村長所信のあいさつの中で、住民のための村づくり、職員一丸となつての住民尊重の立場に立つての行政サービスが実行できる職員のパワーアップをあげておられる。

そこで私は、地方の時代といわれるいま、村民のための施策の推進、実効のためには職員一人一人がより専門的、そして高度な知識、能力を持った職員としての育成がますます必要となつてくると思うし、何よりそれを後ろ盾にした親切丁寧な対応柔軟な対応、それこそパワーと考える。

パワーアップを促す方法として、村長の考えの中にかくつかあるかと思うが、研修方法あるいは職員パワーアップへ向けての村長の考えをお答えいただきたい。

村長 考えているのは、民間への職員派遣あるいは自治体同士近隣町村への一、二年間の交流研修も大切と思うし、今までと違った研修をすることにより徐々に力をつけ、前進に向かっていくと考

える。質問 有望な若手の人材確保はどうされるのか。

村長 団塊世代の退職者が毎年出る中で、採用に当たって配慮したい。

提案 村長の言う今までと違った研修、民間での研修、必要で有意義だと思う。その上で、私は、秘書検定三級ぐらいのものは、全職員が身につけて職務に当たっていただくことを提案する。



住民と一体となった職場づくりを

質 住みよさは整然とした土地利用で

答 土地利用計画を守りつつ見直しも

丸 岡 茂

質問 住みよさや産業振興に、整然とした土地利用が不可欠。公約に掲げた企業誘致や住宅対策は、土地利用計画に沿った土地の有効利用への配慮も含めて、どのような考え方で場所を選定したり、誘導をしていくか。

村長 総合振興計画の土地利用計画に沿っていく事が重要。企業誘致は工場誘致委員会、住宅はニーズや、上下水道の先行投資を含め、審議会を設けて方向付けをしたらとも考えている。

質問 住宅対策は、十六年度の住宅研究委員会の答申や、昨年度の人口対策基本プランが指針と理解しているがそれとの関係は？特に前者では、各地域に提案を呼びかけている。

村長 一区から提案があつた。一箇所実施し次を区と協議したり、他の区とも相談していく。

質問 村にある土地利用計画で、総合振興計画や国土利用計画法による計画はあまりにも大まか。下段地帯は圧倒的に住宅用地が多く、振興計画や村民



中平の宅地分譲地

が望む姿と違う気もする。又、整然とした土地利用が行つていけるか心配だ。村長 農地の転用については農業振興地域整備計画に基づく審査で乱開発を防いでいけると思う。又、総合振興計画の中間年であり、後期の計画見直しに合わせ土地利用も検討したい。

要望 土地利用は利害関係もあり難しいが、各地域の地域づくりに自然な形で包含され検討されれば理想とも思う。村としてその配慮を願う。

社会教育

義務教育の

基盤づくりは国の責務

— 意見書を提出 —

今定例会に提出された請願・陳情は五件でしたが、社会文教委員会関係では「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願の一件のみでした。

本請願は豊丘村教職員組合代表の川又一郎さんより提出、平成二十年度予算編成において、義務教育の水準の維持向上と機会均等、及び地方財政の安定を図るよう国へ意見書を提出するよう求めるものです。

我が国の義務教育を財政面から支えてきた国庫負担制度は、一九八五年教材費・旅費を負担の対象から除外したことに始まり、以後度々見直しが行われてきました。

最近では、十七年度、十八年度で約八千五百億円が一般財源化され、さらに国庫負担率が二分の一から三分の一に引き下げられ、替わりに税源移譲がされましたが、長野県を含む三十九道府県では削減額が上まわり、現行教育条件の維持が困難になっていきます。

国民に等しく義務教育を保障する基盤づくりは、国の責務であるという観点から次の内容の意見書を国へ提出するよう求める請願で当委員会では全会一致採択しました。

- 一、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を二分の一に還元すること。
- 二、国庫負担金から除外した教材費、旅費、共済費、退職手当、児童手当などを還元すること。

総務

資材支給制度の重機代上限を五割までとする陳情を採択

総務産建委員会への付託は、条例一部改正二件と陳情四件でした。

区長会からの請願が二件あり、一つは資材支給制度として村民に広く利用されている制度の運用に占める重機代の割合を、現行の二割から五割へ引き上げようとするものです。自治体の運営が厳しくなり修繕程度の工事は住民の協働で、との性格上、二割の上限となっていました。しかし最近土木作業の経験者も少なくなり、作業にも危険が伴う為、オペレーターを含む重機代の割合を五割以内とする事を採択致しました。今後の運用については制度の主旨を踏まえ施行して欲しいとの意見もありました。

もう一つは中央横断線、御手形、戸中間の落石危険箇所を抜

本的な防止策の請願です。理事者、各委員とも危険性を認め、採択するとともに早急な対応を村に求めるものです。

条例の一部改正の一つは役場受付窓口業務を総務課から住民課へ利便的な問題から、移すものです。

もう一つはケーブルテレビのデジタル化への工事完了による新規加入金の引き下げです。他町村にくらべ高めに設定されていた加入金九万八千円を五万八千円へ引き下げ、加入率をアップし使用料収入を増やそうとするものです。加入率アップの為の具体的な戦略や目標値も示すべきだとの意見もありました。二件とも全会一致で可決しました。



防災情報通信施設整備事業竣工 (芦部川監視カメラ)



シリーズ「私、がんばっています」

今回は、壬生沢北で、アスパラガスを中心に農業を楽しみ、生きがいとして取り組んでいる三石里美さんを紹介します。

三石里美さん（五十三歳）は 築業）と息子さん、ご両親の五人の勇治さん（五十五歳建 家族です。お伺いした時は



上で炊き出し、人命救助に当たります。

その組織が、明治二十年に設立され、昭和二十三年末に全国各支部に日赤奉仕団が、結成されました。豊丘村でも、

日赤奉仕団とは、赤十字の使命とする人道的諸活動・博愛の精神のもと、実践する人々で結成され、

住みよい地域社会を築くためのボランティア組織として、それぞれの立場に応じた様々な活動を行っています。

私の一言

私達は地域日赤奉仕団であり、災害時には、自分自身の身の安全と家族の安全を確かめた上で、ご近所の方々の安全確認、安全な場所へ誘導避難する。その

日赤奉仕団について

吉川ヨネ子 小園

昭和四十二年四月に結成されました。歴史ある日赤奉仕団を存続して行く事が、私達に与えられた使命ではないかと思えます。世代交代の時期とかなり年々団員数も減少しております。

全国的には男性奉仕団員もふえて来て活躍されております。

当村では団員数減少に伴い地域によっては奉仕団員のいない所もありますので、男女をとわず入団していたとき、日赤奉仕団活動に対し、ご理解とご協力の上、ご参加いただきたいと思います。

娘さん家族が出産のため里帰りで中だったので四人ふえて九人の大家族で、にぎやかに暮らしているという事でした。

結婚前は農業に携わった事はなかったのですが、結婚の条件に農業を手伝ってほしいという事でしたので、ご両親と一緒に始めたそうです。そんな中、おじいさんが体を悪くしてからはおじいさんが中心になり今ではほとんど一人で切り盛りをしています。梅が十アール、アスパラガス、柿、南天がそれぞれ約二十五アールと自家用野菜を作っているという事です。

昼食も忘れる程、熱中してご主人に注意される事もあるという事でした。そこまで夢中になるのは、農業がすきなのかなと、また勤めに出れば時間にしばらくの暇がとれるので自分には合っているという事でしたが、ご主人が仕事の休みの時に手伝ってくれるのを助かりますと言われ、将来仕事をリタイヤしたら、農業を二人でやっていきたいと話してくれました。



お孫さんと憩いのひととき（三石里美さん）

編集後記

▼激戦だった村長、村議選挙。早くも三ヶ月余が過ぎた。六月議会では村長の所信に対しての意見交換が多かった。小学校問題を提起した議員が六人。行財政改革や、合併、道州制論議の進展に伴い当然浮上する問題であるが、目下人口増対策に懸命だ。昨年は中平に宅地分譲、今年は山田に特定公共賃貸住宅、今後も集合住宅等の計画をもつ中、若者、生産年齢人口を増し、再生豊丘村に知恵を出し合っている。上下水道本管布設先行投資が計画され、民間の自主的な住宅開発需要に比べると共に、土地の有効利用を促す為だ。駒ヶ岳を借景とする地の利は、好評がある。若者が永住、就業しやすい諸条件の整備や施策を、広域的に又、単独でも平行して進めなければならぬ。

▼国政も、相継ぐ閣僚の辞職や、自殺。開期延長してまでも、駆け込み的に行った重要法案の採決。構造改革の名のもとで、規制緩和が進められた結果一層の格差が生じ、国民不安が高まってきた。サマーバカンスにターゲットとした参議院選挙？。国民の審判はどう下されるのか？